

平成 29 年度外部評価報告書

**平成 31(2019)年 3 月
十文字学園女子大学**

はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいています。

平成 29 年度は、新体制のもとで第三次教育体制改革会議をすすめ、平成 32 年度からの学部学科のあり方、また、本学が目指すべき教育研究上の理念等について、全学的な形で検討を進めてきました。大学としてどのような教育を目指すのか、どのような人材を育成する大学となるのか、原点に立ち戻って検討と議論を重ねてきました。その過程において、外部評価委員から貴重なご意見やご示唆を頂けたことは願ってもいないことでした。特に、これからの社会の姿、新しい大学教育のあり方など、学内教職員だけでは議論が深まらない領域について、視野を広げていただく考え方やご意見を頂戴できたことに感謝を申し上げる次第です。

また、年度末に実施したディプロマポリシーの到達レベルについて自己点検の結果に対して、社会人として通じる能力や人間力について具体的にご意見を頂戴できたことも貴重であったと考えます。ディプロマポリシーの到達状況の測定は端緒についたばかりです。PDCAサイクルをまわして、到達状況の改善を図る方策を検討実施していく必要があります。サイクルをまわす一つの「エンジン」として外部評価委員会よりご意見・叱責・激励をいただきたいと願うばかりです。

さらに、採択 4 年目を迎えた COC 事業の分科会も開催させていただきました。年度ごとの取り組みを報告させていただき、評価と検証をいただきました。平成 30 年度は、最終年度になることから、これまでの実績と今年度の取り込みに合わせ、事業終了後のあり方についてご意見を伺いました。

外部評価委員の方々におかれましては、本学の自己点検評価書ならびにそれに付随する資料の事前点検と外部評価委員会における討議や質疑応答により評価作業に当たっていただいております。いただいたご意見やご提言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。

平成 31 年 3 月

十文字学園女子大学
学長 志村 二三夫

目 次

I 外部評価委員名簿

II 外部評価委員会による評価

III 参考資料

1. 外部評価委員会規程
2. 第9回十文字学園女子大学外部評価委員会 (第5回総会) 議事概要
3. 第10回十文字学園女子大学外部評価委員会 第一部 (COC分科会) 議事概要
4. 第10回十文字学園女子大学外部評価委員会 第二部 (第6回総会) 議事概要

I 外部評価委員名簿

【平成 29 年度】

氏名	職名	総会	大学改革 分科会	COC 分科会
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括官 教授／副所長	○	○	
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会教育長	○	○	
キムラ マコト 木村 眞琴	株式会社ニコン 相談役	○	○	
ササキ マサミネ 佐々木正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理 事長、国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、 本学園顧問	◎	○	○
シブヤ ハルヨシ 渋谷 治美	放送大学 特任教授（埼玉学習センター所長） 埼玉大学名誉教授	○	◎	
スギモト ヨウコ 杉元 葉子	相模女子大学 学芸学部生活デザイン学科 教授	○	○	
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 学長	○		◎
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 教授・学長補佐・地域交流センター所長 （学校法人藤村学園 評議員）	○	○	
フジイ トシノブ 藤井 敏信	新座市都市計画審議会会長 新座市景観審議会会長 東洋大学名誉教授／地域活性化研究所客員研究員	○		○
ヤマナ ミワコ 山名美和子	歴史作家	○		○

※50 音順

※◎は座長

【平成 30 年度】

氏名	職 名	総会	大学改革 分科会	COC 分科会
アキタ キヨミ 秋田 喜代美	東京大学 大学院教育学研究科教職開発コース 教授 附属発達保育実践政策学センター センター長	○	○	
オオツカ ヌウサク 大塚 雄作	独立行政法人大学入試センター客員教授、関西 国際大学客員教授、京都大学名誉教授、大学入 試センター名誉教授	○	○	
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長	○	○	
キムラ マコト 木村 眞琴	株式会社ニコン 相談役	○	○	
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理 事長、国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、 本学園顧問	◎	○	○
シブヤ ハルヨシ 渋谷 治美	放送大学 特任教授（埼玉学習センター所長） 埼玉大学名誉教授	○	◎	
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 学長	○		◎
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 教授・学長補佐・地域交流センター所長 （学校法人藤村学園 評議員）	○	○	
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社代表取締役社長	○		○
フジイ トシノブ 藤井 敏信	新座市都市計画審議会会長、新座市景観審議会 会長、東洋大学 名誉教授／地域活性化研究所 客員研究員	○		○
ヤマナ ミワコ 山名 美和子	歴史作家	○		○

※50 音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、平成 30 年度 4 月に委員委嘱（更新）を行った。

Ⅱ 外部評価委員会による評価

(1) 総括

十文字学園女子大学は、総じて順調であると評価する。

(2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・今までの地域貢献活動については高い評価を得ていることから、今後はこの会議で出た提案等を踏まえ議論を進めてほしい。更なる発展を期待する。
- ・教員採用試験の合格率が高いので、一般就職も100%を実現させてほしい。
- ・海外から留学生を多く受け入れることは評価できる。
- ・自己点検評価を見ると課題があるようだが、実際に活動している十文字の学生はとても評価されている。

(3) 参考意見

- ・新しい価値観は、多様性をもってお互いを認め合うことから生まれる。いろいろなものと触れあい、その中から新しい提案が生まれる。その提案が生まれるプロセスをいかに大事にするかということが教育の一環ではないか。
- ・建学の精神をスローガン化するのは良いと思う。
- ・共通教育のための教員を増やす、ポストを用意するというのは難しいと思うので、先生方が専門プラス1という形で、積極的に共通科目を担当することが大きなポイントだと思う。
- ・学生には課題探求力を付けてほしい。課題を自ら見つけ、解決する総合的な思考力や、コミュニケーション力、協議・協働・実践していく力がその中核となる。そのためにはアクティブラーニングを通して、結果に至るプロセス、考え方、発想というものを大切にしたい、課題解決学習に取り組んでほしい。評価（DPの達成状況の測定）が、学科によってかなり低いところがあるが原因を検証し、その結果を踏まえてどう改善するか、そこを大事にして取り組んでほしい。
- ・地域連携の活動が、シニア世代にも届くように情報を発信してほしい。
- ・自己点検について、PDCAのCAが若干弱いと感じる。CAに対応していける人材の育成が大事である。
- ・産学官民連携プロジェクト研究は、研究成果の積極的な公表と支援が大切である。地域の協力を得ながら、研究推進会議のような組織を作り、このことに対応することが大事である。また、学際的に、幅広く考えること、若手教員を育てることも大切である。

(4) その他の意見

- ・長く評価活動をしていると硬直してしまい、十文字らしさが埋没してしまう可能性がある。学問で競うのは難しくても、感性・行動力を活かすべきではないか。そのためにはフィールドワークが適していて、海外に出ていくことなども含めて大きく打ち出して、それが評価に繋がれば良いのではないか。
- ・今後、障がいのある学生が増えると思うが、どう支援するかというときに、学生同士の助け合いが大事になると思う。支援する学生を、どのように指導しバックアップするか、学生全体の中で育っていけるように工夫できれば良いと思う。

Ⅲ 参考資料

1. 外部評価委員会規程

十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制定

平成27年4月1日最終改正

(設置)

第1条 十文字学園女子大学（以下「本学」という）に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第一項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

(組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己評価委員会に通知するとともに、公表する。

4 委員会に、次の分科会を置く。

一 大学改革分科会

二 COC分科会

5 分科会に座長を置き、委員のなかから学長が指名する。

6 学長は必要に応じて、合同分科会（総会）を開催する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己評価委員会に報告する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部署が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

附則

- 1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2. 外部評価委員会議事概要

①第9回十文字学園女子大学外部評価委員会（第5回総会）議事概要

日 時：平成30年3月7日（水）15：00～17：30

場 所：十文字学園女子大学7号館6階会議室

出席者：63名

〈外部評価委員〉佐々木委員（座長）、金子委員、木村委員、佐々木委員、渋谷委員、杉元委員、藤井委員、山名委員

〈法 人〉 十文字理事長、岡林本部長

〈大 学〉 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、加藤副学長、佐藤副学長、小野副学長、佐々木副学長、狩野副学長補佐、池田副学長補佐、星野地域連携推進機構長代理、名塚地域連携副機構長、安達COCセンター地域教育開発部門会議委員長、岡本事務局長、本間事務局長補佐（司会）、荒川事務局長付課長、瀬川企画評価課長、納企画評価課主任、小林企画評価課主任

〈陪 席 者〉 学科長、自己点検・評価委員、COC事業自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

I 審議事項

1. 第8回外部評価委員会議事要旨について

資料1（第8回外部評価委員会議事要旨）について確認があり、承認された。

2. 平成28年度外部評価報告書（全体）について

資料2（平成28年度外部評価報告書）について承認された。

II 報告事項

3. 教育研究上の目的及び3つのポリシーについて

資料3（平成29年度ディプロマ・ポリシー自己点検・評価）に基づき報告があった。その後、意見交換を行った。

4. 地(知)の拠点整備事業の進捗状況について

資料4-1（地(知)の拠点整備事業／最終年度に向けた総括【論点整理】）、資料4-2（地(知)の拠点整備事業最終年度に向けた総括）に基づき報告があった。その後、意見交換を行った。

5. 第三次教育体制改革の状況経過報告と意見交換

資料5-1（第三次教育体制改革 学部学科構成（案））、資料5-2（共通教育の改革）、資料5-3（共通教育の検討案）に基づき説明があった。その後、意見交換を行った。

閉会

閉会にあたり、十文字理事長より謝辞、続いて佐々木副学長、須田客員教授より挨拶があった。最後に事務局から次回開催予定についての事務連絡があり、閉会となった。

②第 10 回十文字学園女子大学外部評価委員会 第一部（COC分科会）議事概要

日 時：平成 30 年 9 月 4 日（火）14：10～15：10

場 所：十文字学園女子大学 7 号館 6 階会議室

出席者：50 名

〈外部評価委員〉住吉委員（座長）、佐々木委員、藤井委員、山名委員、萩野委員

〈法 人〉 岡林本部長

〈大 学〉 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、加藤副学長、佐藤副学長、小野副学長、
佐々木副学長、狩野副学長補佐、池田副学長補佐、

星野（敦）地域連携推進機構長代理（司会）、

安達地域連携推進機構地域教育開発部門長、名塚地域連携推進機構副機構長、

岡本事務局長、本間事務局長補佐、近藤（優）地域連携推進課員、

古澤まゆみ地域連携推進課員

〈陪 席 者〉 外部評価委員（大学改革分科会：木村、大塚）、学科長、自己点検・評価委員、
COC 事業自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

冒頭、本間事務局長補佐（総務部長）から出席者の紹介があった。

I 報告事項

1. 本学COC事業のこれまでの取り組みについて

資料A（地(知)の拠点整備事業 平成 29 年度実績報告書）、資料B（平成 29 年度までの実績と平成 30 年度の取り組み）、資料C（十文字学園女子大学 COC 事業に係るアンケート調査のまとめ）に基づき、地(知)の拠点整備事業の昨年度の実績と今年度の取り組みについて説明があった。

2. COC事業終了後の地域連携組織のあり方について

資料D（地域連携組織の今後のあり方について（案））に基づき、地域連携の今後のあり方について説明があった。

全体を通して意見交換を行った。

本間事務局長補佐（総務部長）より閉会の挨拶があった。この後の連絡事項があり、閉会となった。

③第10回十文字学園女子大学外部評価委員会 第二部（第6回総会）議事概要

日時：平成30年9月4日（火）15：20～16：20

場所：十文字学園女子大学7号館6階会議室

出席者：55名

- 〈外部評価委員〉佐々木委員（座長）、渋谷委員、木村委員、大塚委員、田中委員、藤井委員、山名委員、萩野委員
- 〈法人〉十文字理事長、岡林本部長
- 〈大学〉志村学長、綿井副学長兼学長補佐、加藤副学長、佐藤副学長、小野副学長、佐々木副学長、狩野副学長補佐、池田副学長補佐、安達地域連携推進機構地域教育開発部門長、名塚地域連携推進機構副機構長、岡本事務局長、本間事務局長補佐、荒川事務局長付課長、井上企画評価部長（司会）、瀬川企画評価課長、納企画評価課主任、小林企画評価課主任
- 〈陪席者〉学科長、自己点検・評価委員、COC事業自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

冒頭、学長から挨拶があり、井上企画評価部長から出席者の紹介があった。

I 審議事項

1. 第9回外部評価委員会議事要旨について

資料1（第9回外部評価委員会議事要旨（案））について承認された。

II 報告事項

2. 平成29年度 自己点検・評価について

資料2（平成29年度 自己点検・評価報告書（案））、資料3（平成29年度 年度計画 自己点検評価のその後の対応）に基づき説明があり、意見交換を行った。

3. 第二期中期目標中期計画の見直しについて

資料4（第二期中期目標中期計画及び平成30年度年度計画）に基づき、説明があった。その後、意見交換を行った。

閉会にあたり、十文字理事長より謝辞があり、事務局から次回開催予定についての連絡があり、閉会となった。

以上